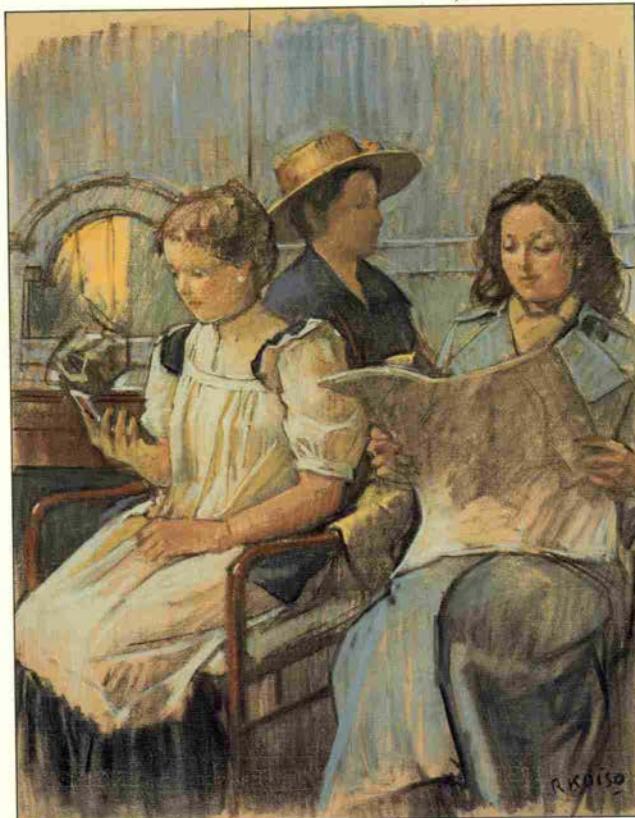


THE KOBECO

OCTOBER No.306

1986 10月刊 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和61年10月1日印刷 通巻306号 昭和61年10月1日発行 毎月1回1日発行

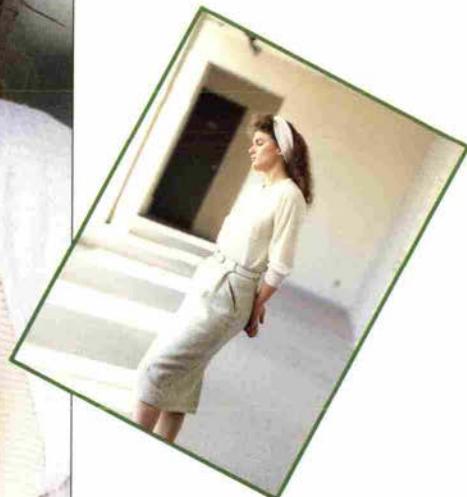


'86 AUTUMN COLLECTION

おんなり浪漫が香る、秋物語。

都市のなかでアートする、
大人の自遊自感。

ときにはヒールを脱ぎ捨てて都会という
ジャングルをアートする遊気を持ってごらん。
そうすれば、いつもと違う「わたし」が
見えてくるはず……。
そんな、大人の感性を持つ、
あなたに、CDスポーツをお届けします。



BENIYA

KOBE・OSAKA・TOKYO

本 店／神戸市中央区三宮センター1丁目
ニューセンター1F・2F ☎078(332)2135
さんちか店／神戸市中央区三宮町1丁目10-1
さんちかローザアベニュー ☎078(321)2678

ぜつかくのジュエリーですから
皆様、目の保養をぞんぶんに、どうぞ。

ジュエリーの進化が始まります。

田崎真珠

新・神戸服

山から海への風、緑と青の光映、
従来の K O B E 感覚を越えた、
新しいファッショニ・ウエーブ
今、シンワからお届けします。



Boutique
Skinwa

センター街本店 / 中央区三宮町2-10-7
TEL. 321-0200・331-3098
さんちかシティエレガанс店 / 中央区
三宮町1-10-1 TEL. 321-5254

● Second Cover

世界の物売り(22)モロッコ(マラケシの広場にて)
屋台の上の舞台をでんでん虫がゆるりぬるりとまわる鐵なべは
エスカルゴのステップが奇妙な香りを放つ。

中 西 勝

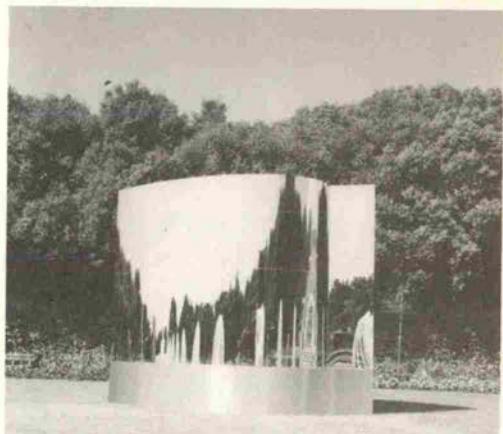
(一紀会)



第10回
神戸須磨離宮公園現代彫刻展

KODE 秋の藝術祭

- 会期 昭和61年10月1日(水)～11月10日(月)
午前9時～午後5時
- 会場 神戸市立須磨離宮公園



街の彫刻を考える

彫刻が、都市で生きる人々に人間性豊かな生活空間をどう演出し、くらしの中でどう活きてゆくかということがテーマです。

主 催

神戸市

神戸須磨離宮公園現代彫刻展運営委員会

朝日新聞社

問合せ先

神 戸 市 市 民 局 市 民 文 化 課

神戸市中央区加納町6-5-1

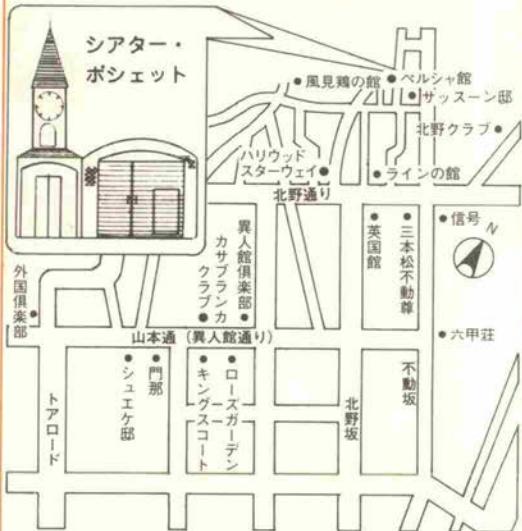
☎ (078) 331-8181 内線2812

実験交流サロン

シアター・ポシェット

10月の公演

- 3日(金) YMCA後援会
- 12日(木) 日仏映画祭
- 25日(土) アメリカ人の夫を持つ日本人妻の会
- 26日(日) 中島常乃チャリティー
「異人館街より愛のしらべを」



★シアター利用のご案内

- 曜日、時間 / 土、日曜日（通常）AM10:00～PM8:00
 - 費用 / ホール設備の使用無料。光熱、空調、管理費のみ実費
 - 付帯設備 / グランドピアノ・エレクトーン・録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー・テープレコーダー、マイク、映写機等
 - お申し込み、お問い合わせ
- そごう前センター街東南角、さんちか入口
〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F
佐本小兒歯科 佐本進 ☎ 331-6302～3

Authentico



マミーさんちか店

量から質、質から味の時代にあって、
上質な素材、繊細な神経が行き届いたシルエット、分量、仕立て。
表だったファッション性のこだわりを卒業し、大人にしかで
きない贅沢。目立っているものでは出すことのできない味。
最小限のパーツの組み合わせで贅を漂わせる極めつくした味。
そんなオーセンティック（本物）のファッションを、マミーからおとどけします。



女性の美意識を求めて
Mammy

■さんちか店
中央区三宮町1-10 さんちかローザアベニュー
☎ (078) 321-1358

■CARA by CARLO店
中央区三宮町1-6-2 サンブリック街
☎ (078) 332-3280



COOL CONNECTION

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

いい女に、いい服を

速水輝子

（ファッショングザイナー） カメラ・池田年夫



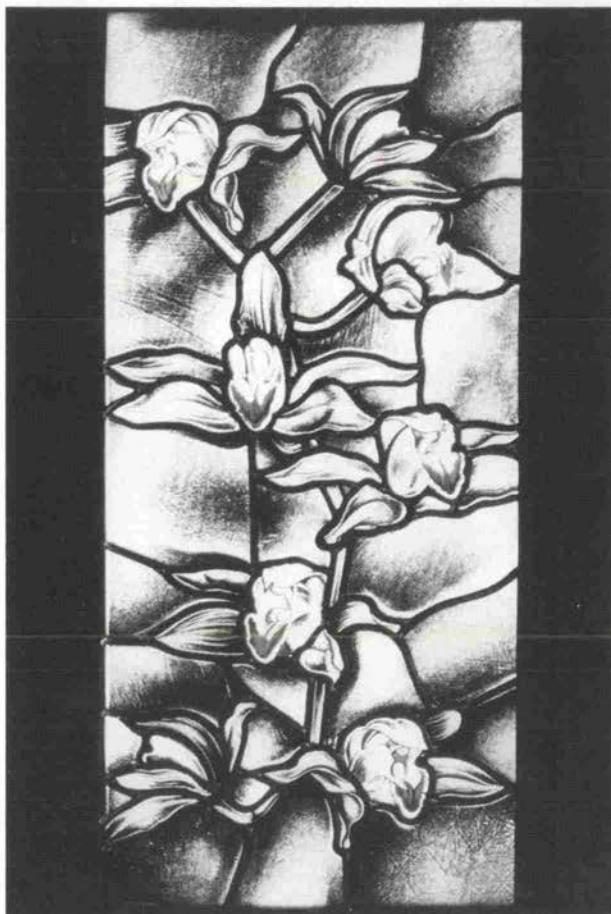
巨匠、クリムトに因んで「クリムト・コレクション」と名付けられたオートクチュール感覚のブレタボルテは、二年前、芦屋で誕生した。芦屋夫人をしていた速水輝子さんが脱主婦をして、自宅に友人達を招き、自分で作ったコレクションを披露した。その時の評判が良く、二シーズンを経て、これならイケルノといきなり、西麻布にブティックを開店。株式会社速水を設立し、東京と神戸でファッショニングショーを開催、翌年には芦屋店オープンとトントン拍子に進んできた。若い頃から洋服が大好きで、お洒落が映える美貌に加え、センスも磨かれていた。しかし、神戸二紀展に入選するなど絵心はあったものの、洋服作りは全くの素人。自ら「十六年間の冬眠生活」と称する主婦生活にビリオドを打ち、仕事も生活も東京に移して、約十名のスタッフと仕事に没頭の毎日だが、現在最高にノッティル。「大きな企業では全く採算の合わない入念な制作行程をとっています。人間としてのキャリアを積んだ女性に、その人の大切な日に着てほしい服——なんですね」確かに一見クセのある服で、速水さん自身が着たい、という個性がムンムンしている。しかしそれが受けている由縁。量産ができず、上代も高いので、客層は一部に限られるが、年商十億位まではこの路線でやつてみるそうだ。毎月、東京と芦屋を往復し、オンラインショップを増やす等行動力には脱帽。

さんちか開店21周年記念

KODE 秋の藝術祭

国際ステンドグラス藝術作家展

—グリザイユ・光と影の狩人達—



「花」メスタッフ・ルク(ベルギー)

10/2(木)~10/7(火)

さんちかホール

光と影が獨特のハーモニーとリズム
を創り上げるステンドグラス。6作
家による25点の作品をお楽しみ下さい。

出品作家

モレ・ジャン(仏)

レーンクネヒト・ヤン(ベルギー)

メスタッフ・ルク(ベルギー)

マイヴァルト・イングリット(ベルギー)

立花江津子(日本)

ヴァン・ド・ペル・ハロルド(ベルギー)

主催

さんちか

国際ステンドグラス藝術協会(I SAS)

神戸市・(財)神戸市民文化振興財団

後援

神戸新聞社・NHK神戸放送局

在大阪ベルギー領事館・在大阪・神戸フランス総領事館

santica

The NeW Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか

バレエ界の明日を担う星

高瀬浩幸

(貞松・浜田バレエ団) カメラ・池田年夫

バーに足をかける。鏡をみつめながらウォーミングアップ。みると汗が吹き出してくる。バレエを始めて4年目にして、全日本バレエコンクール、シニアの部で第2位に輝いた。

高校時代は、畠違いのバレーボールの選手。“運動神経はあまりよくなかったんですけど”と苦笑するが、これだけの上背があれば、バレエ部でも貴重な存在であったはず。それが、ジャズダンスのインストラクターである姉のダンス教室を覗いて興味を持ち方向転換。母上も新舞踊の名取であるから、血が目覚めたと言うべきであるかもしれない。師匠の貞松正一郎氏も“テクニックに走らない、大型の踊り手に育つてくれれば”と目を細める。予選、本選を通して8回の審査という難関を、自分で振付けた「エイヤ」の曲で勝ち抜いた。14世紀ルネッサンス時代の生活の喜びを歌ったこの曲で、踊る喜びを表現したかったという。

11月は札幌、12月には4カ所を回っての舞台、と受賞後は特に引張りだこ。182cm、66kgの恵まれた身体に、本人の目指す“力で見せる踊り”が加わったとき、バレエ界が待ち望んでいたバレリーナの誕生である。加古川市在住、21才、乙女座、O型。



今までの集大成を 五人の仲間で

田所 義信

KOBE洋画5人の会は、教壇に立つ傍ら、長年、創作活動を続けてきた、小・中学校の先生五人のグループです。

お互い、昔から顔や名前は知っていたのですが、昨年の終り頃、何となく酒の席で一緒になり、グループを作ろうじゃないか、という話になって形成されました。

八月七日より十二日まで、ギヤラリーサンちかで「KOBE洋画五人展」第一回を開催した訳ですが、私達は歴代最高の水準の展覧会になつた、と自負しております。

メンバーおののは、それぞれ異なる美術団体に属し、具体的傾向の作品を発表してきたのですが、今回は、美術の価値を流派の新旧に置かず、真に新たな展開を目指し、創造的な個性の発見を尊重することに重点を置きました。

同じ具体的傾向の作品と言つても、それぞれの個性は、全く違いますので、お互いの作品を比べる「勉強会」の意味もあり、今後も第2回、第3回と続けて行くつもりでいますので、今後も、よろしく御願い申しあげます。

連絡先

神戸市東灘区鴨子ヶ原3-13-5

田所 義信

(左より堀江俊、岩見健一、山口静治)
田所 義信 方



ある集い
■
KOBE洋画
5人の会

神戸に モーツアルトクラブあり

吉田 義武

神戸にモーツアルト・クラブが出来て四年になる。会長に狩野學さんを迎へ、現在会員数一三一名、モーツアルトの研究グループではなく音楽好きが集まり、モーツアルトにだけこだわらなくてもいいではないかという気楽な会を作ろうと。

でもモーツアルトの名に引かれ入会した方もあり、この頃モーツアルトにだんだんこだわりだした。会を作る前、アドバイスを求める東京にある日本モーツアルト協会に電話をしたところ「日本の各地でモーツアルト協会を作りたいと相談がたくさんありますが、長統きしない例の方が多いようですよ、でも頑張つて下さいね」と言われた。

今その意味がよくわかつて来た。「石に噛りついても頑張るぞ、早く会員数六二六人にしたい。いやああてないぞ、じっくり取組み、神戸にモーツアルト・クラブありと云われるようになりたい」。

問合せ先

神戸市兵庫区湊川町3丁目3の2 中筋方
神戸モーツアルト・クラブ事務局

TEL 511・5223

ある集い
■
モーツアルト
クラブ



WE ARE
THE
KOBECO
いい関係



この秋、文化の街神戸に ステキな俱楽部が誕生しました。

■神戸は全国にさきがけて海外からの文化をいち早くとり入れて来たインターナショナル・シティ。

山と海に囲まれた温暖な気候風土の中で、多彩な文化を育み、豊かな生活をエンジョイして来た神戸っ子たち。神戸をこよなく愛する神戸っ子——。

そういう神戸っ子たちのクラブ、「神戸っ子俱楽部」が今、誕生します。

神戸をさらに文化の香り豊かな街にするために、神戸の生活文化のバックグラウンドの質を高め、より豊かなより楽しいライフスタイルを生み出す神戸っ子俱楽部。

それは神戸のファンクラブです。

■神戸っ子俱楽部の会員には素敵な特典があります。

会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。神戸っ子俱楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子俱楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様

々な情報を提供します。

さらに年に二回、文化性の高いイベント（コンサート・美術展・演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。

■神戸っ子俱楽部では、ただ今、会員を募集しています。年会費（入会金を含みます）は1万円です。入会と一緒に会員証をお渡しし、その月から「月刊神戸っ子」を毎月お送りいたします。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子俱楽部」。あなたもご入会になって、豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか……。

神戸っ子俱楽部発足記念イベント

「神戸っ子音楽祭」を開催

12/2(火)PM6:30 神戸国際会館大ホール

■入会申込・お問合せは――

神戸っ子俱楽部事務局 / 〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
(月刊神戸っ子編集室内) ☎ (078) 331-2246



①東仲一矩さんのフラメンコ②天本英世さんの詩の朗読③ガウディ展④福本憲さん・岡田敏宏さんのギターデュオ⑤貞松浜田バレエ団のスペイン舞踏会⑥移動動物園

★六甲に スペニッシュ台風上陸！

●コウベスナップ

★ハプニングの祭典 型破りに爆発！

①会場風景②村上三郎さんによるオープニングセレモニー③植松童二さん夫妻(右)元永定正さん夫妻(左)④増田洋館長補佐(右)の挨拶⑤白髪一雄さん(右)堀尾貞治さん(左)



“六甲の地にスペインの情熱と激しさを！”をスローガンに、『六甲を考える会』が8月22日から25日まで、阪急六甲駅界隈において『六甲スペイン祭』を開催した。六甲とスペイン、一見奇抜な取り合わせだが、スペインのもつ自由奔放なパワーは管理化された日本社会へのアンチテーゼ。又、スペイン内戦勃発50周年にちなみ、世界平和の願いも込められている。年々規模が拡大する同会主催のイベント、今年は10ヶ所の会場で“手作り”のお祭りが満喫された。

前衛美術グループ『具体』の『行為と絵画』展が、8月30日から9月28日まで、兵庫県立近代美術館において開催された(主催は朝日新聞社など)。初日は、入口に張られた紙を体で破って中に飛び込むという意表をついたセレモニーで開幕。期間中は、奇抜なパフォーマンスやユニークな作品で埋めつくされ、詰めかけた人たちはしばし日常の鎖から解放され、超次元空間に酔いした。

草の町

草の町です

そのまんなかに草の塔 しなやかにゆれています

バッタが跳びます

草の実しぶきが飛沫となってはじけます

草の人は記号のように腕をひろげ

風に首をふってあいさつを交します

——ごきげんよう ほおづきは提灯を用意しました

——ごきげんよう 羽根たねを生やした種子の旅立ちです

塔の天辺にすこし綿毛をひっかけて

羊の群が空を通りすぎます

伝説によればこの平らかな草の町は

きり立った絶壁にかこまれています

詩画集 四季

詩・多田智満子
画・石阪 春生



HISHISAKA